

幾何学II演習

4. 完全列 (1)

1 完全列の分解

加群の短完全列

$$0 \longrightarrow M \xrightarrow{i} M' \xrightarrow{j} M'' \longrightarrow 0$$

に対して、以下の2条件は同値であることを示せ。

1. 準同型写像 $\bar{i}: M' \rightarrow M$ が存在して $\bar{i} \circ i = \text{id}$ が成り立つ。
2. 準同型写像 $\bar{j}: M'' \rightarrow M'$ が存在して $j \circ \bar{j} = \text{id}$ が成り立つ。

上の2条件のいずれかが成立するとき加群の短完全列は分解するという。
このとき、加群の同型

$$M' \cong M \oplus M''$$

が成立することを示せ。また、分解しない短完全列の例を挙げよ。 M'' が自由加群のときは、上の短完全列はつねに分解することを示せ。

2 Five Lemma

加群の完全列の間の準同型

$$\begin{array}{ccccccccc} M_1 & \xrightarrow{i_1} & M_2 & \xrightarrow{i_2} & M_3 & \xrightarrow{i_3} & M_4 & \xrightarrow{i_4} & M_5 \\ f_1 \downarrow & & f_2 \downarrow & & f_3 \downarrow & & f_4 \downarrow & & f_5 \downarrow \\ M'_1 & \xrightarrow{j_1} & M'_2 & \xrightarrow{j_2} & M'_3 & \xrightarrow{j_3} & M'_4 & \xrightarrow{j_4} & M'_5 \end{array}$$

が与えられたとする。つまり、上の図式の横の列はともに完全列で図式は可換であるとする。 f_1 が全射、 f_5 が単射、 f_2, f_4 が同型写像ならば、 f_3 は同型写像となることを示せ。